

一般質問発言通告書

発言順位 13番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

質問事項 1	災害や緊急時の応急給水体制の強化
具体的内容	三島市では災害や緊急時の応急給水のため令和2年度に加圧式給水車の導入を行いました。また、従来からの車載用タンクは水道課に4台あります。その他、市内配水場のうち6か所で応急給水の対応ができるようになっていきます。この応急給水の体制強化のため以下に伺います。
1	市内の限られた配水場に、常設の応急給水施設を設置しているのはなぜか。
2	現状、6か所の配水場、例えば水源区配水場（芙蓉台）と高区配水場（富士見台）には応急給水設備があり、緊急時には配水池にためている水を蛇口から給水できます。水源区配水場の配水池は2,000立方メートルが1つ、高区配水場は1,500立方メートルが2つです。ここは給水車を待たなくても給水できます。あと中区配水場（富士ビレッジ）がありますが、ここには応急給水設備がありません。そこでこの中区配水場にも応急給水設備の設置を要望します。中区配水場の配水池は3,000立方メートルが2つあります。見解を伺います。
質問事項 2	富士山南東スマートフロンティア推進協議会2市1町連携構想の詳細
具体的内容	令和3年8月18日に三島市、裾野市、長泉町の2市1町の首長で構成された富士山南東スマートフロンティア推進協議会が発足しました。事業連携の期間は令和3年度から令和7年度の5年間とされ6つの連携事業案が挙げられていますが、その詳細について以下に伺います。
1	具体的な計画策定のスケジュールを伺う。
2	事務の共同処理ではなくて政策面での連携事業ということだと思いが、具体的政策連携のイメージを伺う。
3	県のふじのくにフロンティア推進エリアの認定を受けるとどうなるのか。
質問事項 3	情報格差の解消と広報発行回数
具体的内容	内閣府の調査では70歳以上の高齢者の約6割はスマートフォンなどの情報機器を利用していないとの結果が出ています。デジタル社会の恩恵をだれもが受けられるようにしていきたい。スマホの利用者を増やすためにはどうするか、またマイナンバーカードの申請やポイントの紐づけ方法、キャッシュレス決済など便利さを実感してもらうためにはどうするか、いろいろな説明を気軽にうけられる体制づくりが必要です。そこで以下に伺います。
1	三島市のLINE公式アカウントに登録を頂いている市民の人数はどのくらいになっているか。更なる目標とそれのための施策を伺う。
2	総務省はデジタル支援員を配置し小学校区単位での「スマホ教室」の開催を目指すとしている。広報みしま9月1日号に高齢者向け講習会の案内があるが、もっと広く受けやすくするための講習会改善策とスマホへ移行していただくための施策を伺う。
3	広報みしまの発行回数を月1回にすることについて見解を伺う。